

講師

石黒 浩 (いしぐろ・ひろし)

大阪大学大学院教授、同大学栄誉教授



講演テーマ

AIとロボット

略歴

ロボット工学者。ATR 石黒浩特別研究所客員所長(ATR フェロー)、ムーンショット型研究開発制度プロジェクトマネージャー、大阪関西万博 EXPO2025 テーマ事業プロデューサー、AVITA 株式会社 CEO 代表取締役、遠隔操作ロボット(アバター)や知能ロボットの研究開発に従事。人間酷似型ロボット(アンドロイド)研究の第一人者。2011年、大阪文化賞受賞。2015年、文部科学大臣表彰受賞およびシェイク・ムハンマド・ビン・ラーシド・アール・マクトゥーム知識賞受賞。2020年、立石賞受賞。2024年、市村学術賞功績賞受賞。

主な著書

『ロボットとは何か』石黒浩(2009年、文藝春秋)

『ロボットは涙を流すか』石黒浩(2011年、角川書店)

『人と芸術とアンドロイド』石黒浩(2012年、日本評論社)

『糞袋』内と外』石黒浩(2012年、青土社)

『生きてなんやろか?』石黒浩・鷺田清一(2013年、毎日新聞社)

『アンドロイドは人間になれるか』石黒浩(2015年、文藝春秋)

『ロボットとは何か——人の心を映す鏡』石黒浩(2016年、コンセプト)

『どうすれば「人」を創れるか——アンドロイドになった私』石黒浩(2017年、新潮社)

『人間と機械のあいだ——心はどこにあるのか』石黒浩(2018年、コンセプト)

『ロボットと人間——人とは何か』石黒浩(2019年、PHP 研究所)

『アバターと共生する未来社会』石黒浩(2021年、日経 BP)

など多数。

以上